

テクニカル分析特別レポート

フジフューチャーズ株式会社 (情報企画課)

18年9月6日(水)

東京白金 先限つなぎ - チャート

先限つなぎ[週足] 2005年04月08日～2006年09月05日、<単純移動平均 (短期15, 中期0, 長期45)>、<相対力指数 (短期15, 長期30)>



保ち合い上放れ

東京白金(先限週足)は“2/13週安値3733円から5/29週-上場来-高値4658円までの上昇に対する半値押し4195円”を引け値で維持(6/12週安値4074円・引け値4207円)し、弱気転換に至らず。節目4500円に絡む保ち合い(7/3週～8/21週。レンジは7/18週安値4388円～8/7週高値4575円)を挟んで上昇を続け、9/4週[9/5引けまで]では、このレンジ(上限4575円)を安値で上抜いた形(9/5高値・引け値4690円で、上場来高値を更新)。相対力指数を見ても“一時的な買われ過ぎ感”が無く、特にスピード調整を必要としていないことから、目先、4575円を大きく下回らない可能性がある。上値目標は、まず、「同保ち合い上限から保ち合い幅を上げる4762円」。また、4700円台から上げ足を速めるようなら、「5/29週～6/12週の下落に対する1.5倍返し4950円」が視野に入ろう。

チャートは9/5大引け時点。“2/13週”は、「2/13から始まる週」を指しています。

掲載内容は情報提供を目的としております。情報につきましては細心の注意を払っておりますが、正確さを保証するものではありません。また、取引における判断はお客様ご自身で行って下さい。